

〈特集2〉愛知県「休み方改革」プロジェクトについて 「県民の日学校ホリデー」と「ラーケーションの日」

日本には祝休日は多くあるものの、国民が一斉に休みを取るため、質の高い休暇を楽しむことができないという実態があります。そこで、愛知県は、国民全体のワーク・ライフ・バランスの充実と生産性向上による経済活性化の実現を目指し、経済界、労働界、教育界が共に取り組む愛知県「休み方改革」プロジェクトを推進しています。とりわけ教育界においては、子供が家族と一緒に過ごせる仕組みとして、「県民の日学校ホリデー」と「ラーケーションの日」を創設・実施します。

1 愛知県「休み方改革」プロジェクトの概要

愛知県「休み方改革」プロジェクトは、あいち県民の日・あいちウィークを契機とし、職場環境や家族の時間、観光等を考慮した、地域が一体となった仕組みづくりです。

(1) あいち県民の日（11/27）・あいちウィークを契機とした「休み方改革」の推進

○ **あいちウィーク（毎年11/21～27）におけるイベントの開催**
期間中、県の歴史、魅力についての講演会や絵画コンクール、学生等によるコンサート等を開催

○ **公の施設の使用料等の減免**
期間中に、一部の公の施設の利用に係る使用料等を減免

(2) 休暇を取得しやすい職場環境づくり

○ **休み方改革マイスター企業認定制度の創設**
・労働者が各自の仕事や家庭の予定に合わせた休暇の取得や、テレワーク等の多様な働き方を選択できる職場環境づくりを推進
・年次有給休暇の取得及び多様な特別休暇の導入を積極的に推進している中小企業等を認定
・認定企業への優遇措置等により中小企業を後押し

(3) 家族と子供と一緒に過ごせる仕組みづくり

○ **「県民の日学校ホリデー」の創設・実施**
・学校休業日の創設や子供が休みやすい環境づくりを促進
・あいちウィーク期間中の一日を「県民の日学校ホリデー」に指定し、新たな休業日の創設とあわせて、児童クラブ等の居場所づくりを推進
○ **「ラーケーションの日」の創設・導入に向けた環境整備**
家族の休みに合わせて、子供が校外で体験や探究の学び・活動を実行できる「ラーケーションの日」の創設・導入に向けた環境整備

(4) 平日や閑散期への観光需要のシフト（令和5年度の例）

○ **あいちスキ旅キャンペーン**
平日等、閑散期に旅行をする人向けの割引等の特典を提供する事業者をPR
○ **あいちの魅力発見バスツアーの実施**
あいちウィーク期間中の平日に、愛知県の魅力を発見する県民向けバスツアーを実施

(5) 地域が一体となった「休み方改革」の推進

○ **愛知県「休み方改革」イニシアチブ**
・経済界・労働界・教育界とともに、「休み方改革」を通じ、ワーク・ライフ・バランスの充実と生産性向上による地域経済の活性化を目指す運動
・地域が一体となって、愛知発で「休み方改革」を盛り上げ、国民運動として全国に展開

2 教育における「休み方改革」

(1) 県民の日学校ホリデー

○ 教育的なねらい

「県民の日学校ホリデー」は、家庭及び地域における体験的な学習活動、その他の学習活動のための学校休業日です。地域の自然、歴史、風土、文化、産業等についての理解と関心を深める体験的な学習活動等に、家族等と一緒に参加することで、愛知への愛着と県民としての誇りをもつ契機とすることを目的としています。

○ 制度の概要

11月21日から27日までの「あいちウィーク」期間中の1日を学校や市町村が「県民の日学校ホリデー」に指定し、休業日とします。「あいちウィーク」には、親子で楽しめるイベントが行われたり、美術館や博物館等の公共施設の入場料が割引になったりします。

11/21	11/22	11/23	11/24	11/25	11/26	11/27
		勤労感謝の日				県民の日
あいちウィーク 11/21～11/27						

(2) ラーケーションの日

○ 教育的なねらい

教育基本法の家庭教育の条項（第10条）には「父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有する」とあり、子供の教育の全てを学校が抱えるのではなく、保護者の教育力を引き出すことも必要です。また、令和3年1月の中央教育審議会答申では、児童生徒が自己調整しながら学習を進めていくことができるよう指導することの重要性が指摘されており、保護者等と連携して学びにおける子供の主体性を高めていくことをねらいとしています。

○ 制度の概要

「ラーケーションの日」とは、子供たちが保護者等と共に、校外（家庭や地域）で、体験や探究の学び・活動を、自ら考え、企画し、実行することができる日です。校外での自主学習活動として位置付け、登校しなくても「欠席」扱いとはしません。保護者等の休暇に合わせて、年に3日まで取得することができます。

○ モデル地区での活動例

・子供の声

母の仕事の休みに合わせて、一緒に科学館へ行きました。平日で人も少なく、学芸員の方から詳しい説明を聞くことができ、特別な一日となりました。

・保護者の声

親子でお菓子作りをしました。同じレシピをもとに、互いにアレンジを加えました。香りにまで配慮している我が子に、大きな成長を感じました。

・学校の声

ラーケーションの日の翌日、本学級の子供が動物園見学の報告にきました。いつも以上に目を輝かせて話をする様子から、体験的に学ぶ価値の大きさを感じました。

3 リンク

① 愛知県「休み方改革」プロジェクトについて

<https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/452097.pdf>



② 「県民の日学校ホリデー」について

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/gimukyoiku/gakkouhoride.html>



③ 愛知発の新しい学び方「ラーケーションの日」について

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/gimukyoiku/learcation.html>

